

2013年度 事業計画

2013年1月1日から2013年12月31日まで

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

はじめに

法人設立から6年度目は、活動の基盤となるシマフクロウの調査・パトロール、給餌などを続けて行い保護・保全活動を推進する。さらに、それらの活動で得た知識や課題を関連団体との連携も視野に入れながら、環境教育やエコツアー、人材育成など普及・啓発活動で地域や社会に還元することで、会員や寄付、情報、物資、ボランティアなどの支援の輪を広げ、人とシマフクロウが共生できる社会づくりや、関係地域が主体に関わる次世代に続く保護活動を推進する。

<各事業の概要>

I 保護・保全・支援事業

1. 補助給餌

1) 給餌

シマフクロウの繁殖を補助するために、おさかな寄付収入で活魚を購入し、専用給餌池に放流する。

2) 募金活動

活魚の必要性を広く伝え、人々の関心と共感の輪を広げる募金活動を行う。

2. 調査・パトロール

シマフクロウの保護保全活動の適切かつ効果的な実施のために、その分布行動圏、生息・繁殖状況等に関して昨年度に引続き以下の調査を行う。

1) 生息確認調査

生息確認調査を行い、未だ知られていない繁殖地の発見に努める。

2) 繁殖個体と幼鳥の経過観察及び生息地のパトロール

繁殖及び生息が確認されている地域における成鳥や幼鳥等の経過観察を行いデータの蓄積を行う。また、生息地のパトロールを定期的に行い繁殖等に悪影響を及ぼす事項に注意を払う。

3) 繁殖候補地及び周辺における亜成鳥の行動調査

繁殖候補地及び周辺域における単独個体の行動調査を行う。

4) 情報提供等による生息確認調査。

生息情報等が寄せられた地域における生息確認調査を行う。

5) 募金活動

調査・パトロールの必要性を広く伝え、関心と共感の輪を広げる募金活動を行う。

3. 植林

確実に根付ける植林を实践し、生息域が激減し絶滅の危機にあるシマフクロウが安定して暮らす環境づくりにつなげる。

II 人材育成事業

次世代に続くシマフクロウの保護調査員の担い手をホームページ等で通年募集し人材の発掘を行う。

保護調査員の志望者において、実践活動で育成に取り組む。

III 環境教育事業

シマフクロウをテーマとした環境教育を行い、町内外の人々に普及・啓発を推進し、関係地域が主体に取り組む次世代に続くシマフクロウの保護活動を目指す。

IV エコツーリズム事業

会員限定のツアーを開催し、体験を通じてシマフクロウやその保護活動の現状や課題への理解と関心を推進する。

V PR 事業

シマフクロウが直面する問題やそれに向けた当活動の取組みを広報し、関心と共感の輪を広げ、支援者を増やし安定した自主財源を目指す。地域が主体に関わる次世代に続く保護活動を推進する以下のPR活動を行う。

1) インターネットによる PR

・ホームページやソーシャルネットサービスを連動させ、活動状況等を広く発信し、共感の輪を広げ支援者の拡大を目指す。

2) 印刷物による PR

- ・ 会員向けの会報を発行し、活動やシマフクロウに関連するニュースを紹介し、シマフクロウや保護活動への関心と理解を促進する。
- ・ 地域住民向けに会の活動を紹介するチラシを配布する等、活動への理解と関心を推進する。
- ・ 活動を紹介する冊子を作成し、入会パンフレットや活動理念図など各種印刷物で、広く多くの人々に活動への関心と理解を推進し、会の活動を支える支援者の獲得を図る。
- ・ 活動を紹介するパネル等を製作・整備し、パネル展等で広く多くの人へ活動を周知する。

3) 会員・寄付の募集

資金調達の手法を試み、興味・関心層を引き込み、支援者拡大を図る。

4)その他の PR

必要に応じて、新聞・雑誌等で随時 PR 活動を行う。

以上